

5 子育てと母親自身の生き方

1 配偶者の理解・協力が子育てをより楽しくする

多くの母親が子育てを「楽しい」と感じているが、配偶者に理解があったり、協力的だと感じていたりすると、「楽しい」割合が高まる。

Q 毎日の子育てが楽しいですか。

図5-1 子育ての楽しさ（全体、母親就労状況別）

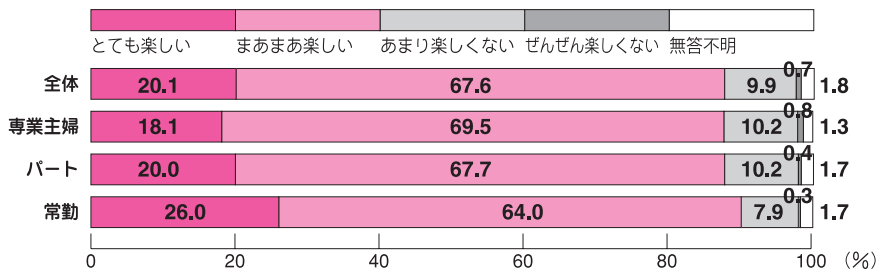
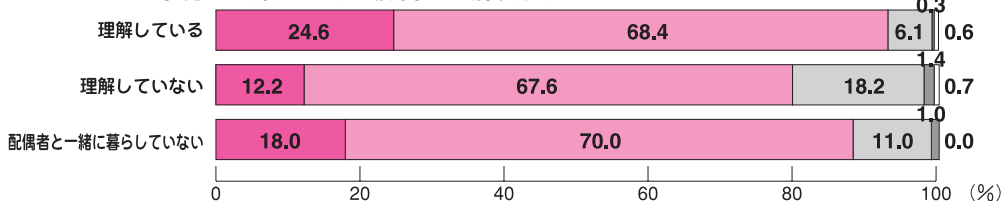
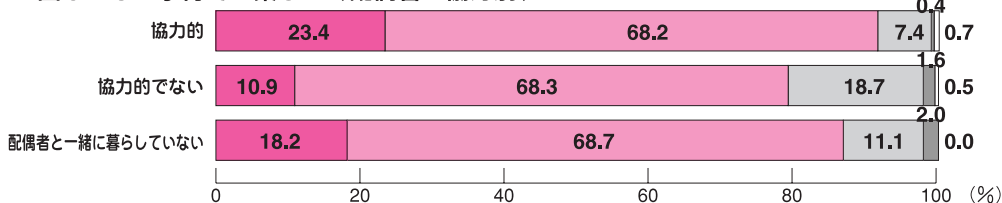


図5-2 子育ての楽しさ（配偶者の理解度別）



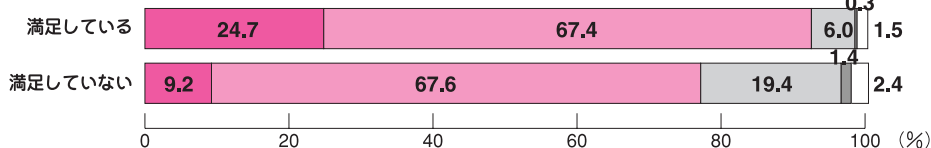
※「理解している」は、「配偶者は、あなたが関心をもってのことや悩みなど『現在のあなたご自身』を理解してくれていると思いますか」という質問に、「よく理解している」「まあまあ理解している」と回答した人。「理解していない」は、「あまり理解していない」「ぜんぜん理解していない」と回答した人。

図5-3 子育ての楽しさ（配偶者の協力別）



※「協力的」は、「配偶者は、他のお父さんたちと比べて子育てに協力的だと思いますか」という質問に、「とても協力的」「まあまあ協力的」と回答した人。「協力的でない」は、「あまり協力的でない」「ぜんぜん協力的でない」と回答した人。

図5-4 子育ての楽しさ（子どもの自立の満足度別）



※「満足している」は、「お子様の生活習慣やしつけの状況に全体として満足していますか」という質問に、「とても満足している」「まあ満足している」と回答した人。「満足していない」は、「あまり満足していない」「ぜんぜん満足していない」と回答した人。

就労状況にかかわらず、8割以上の保護者が毎日の子育てを「楽しい」と感じている。とくに「常勤」の母親は子育てを「とても楽しい」と感じている割合が高い（図5-1）。配偶者との関係でみると、配偶者が「理解している」と感じている母親、配偶者が「協力的」な母親ほど、子育

てを「楽しい」と感じている（図5-2、3）。子どもの生活習慣やしつけの状況に対する満足度と子育ての楽しさとの関係を見ると、生活習慣やしつけに「満足している」保護者ほど毎日の子育てを「楽しい」と感じている（図5-4）。

2

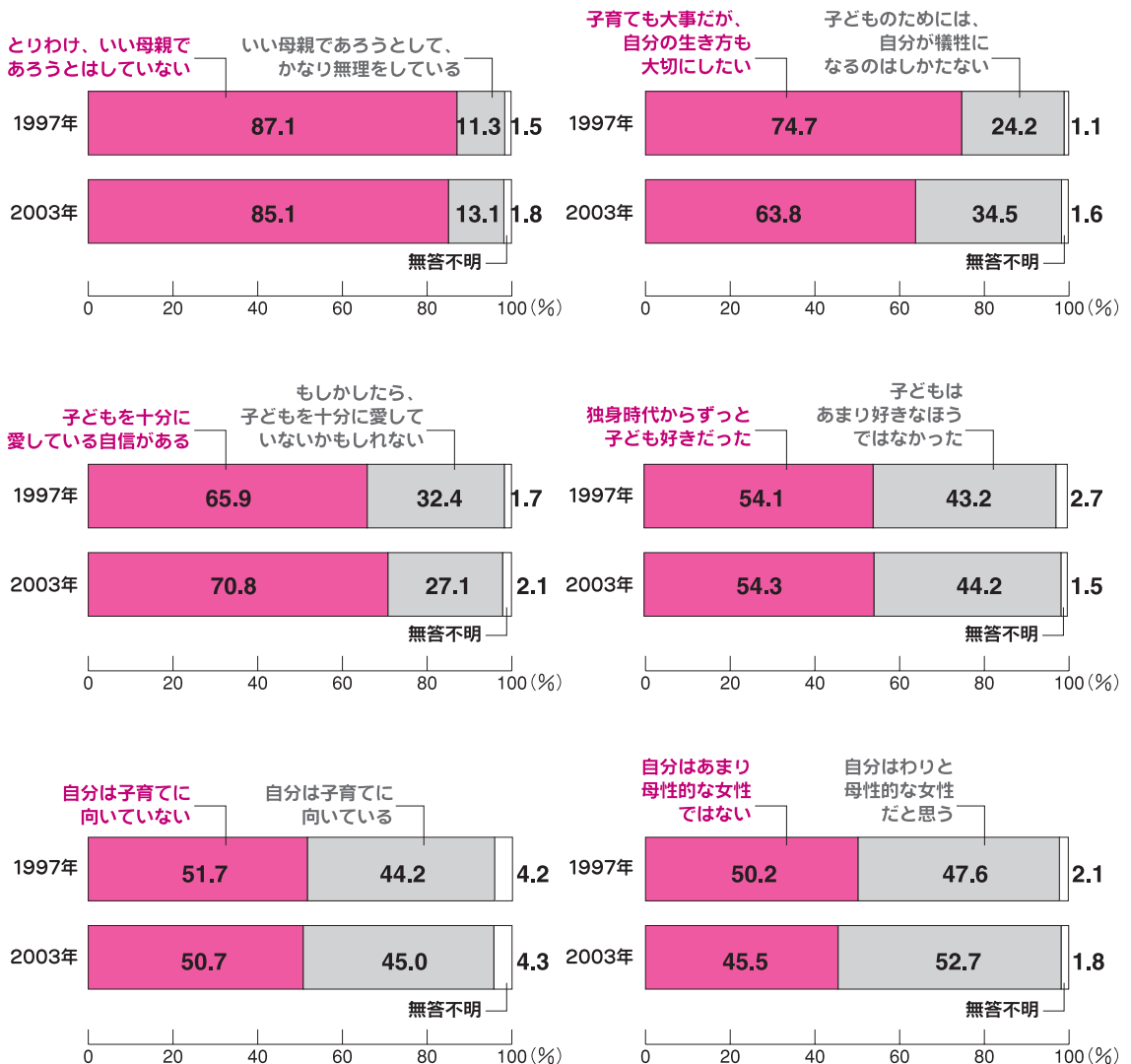
自分を母性的だと感じる母親が増加している

母親像は6年前と大きな変化はないが、「自分が犠牲になるのはしかたない」「子どもを十分に愛している自信がある」「自分は母性的だと思う」割合が若干増加している。



次のような子育てに関する2つの意見のうち、あなたのお気持ちに近いほうはどちらですか。

図5-5 子育てに関する意見（経年比較）



子育てに関する意見について経年比較をすると、「子育ても大事だが、自分の生き方も大切にしたい」の減少に対し、「子どものためには、自分が犠牲になるのはしかたない」が増加、「子どもを十分に愛していないかもしれない」の減少に対し、「十分に愛している自信がある」が増加、「自

分はあまり母性的な女性ではない」の減少に対し、「わりと母性的な女性だと思う」が増加といった傾向がみられる。全体的に子どものために思い、自分を犠牲にする母親像を肯定する割合が高まっている。